

東日

密回避で関心高まるマリナーズ

三河湾周遊 快走ニツチャレ号

蒲郡のラグナマリーナ 家族連れに人気

新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、「密」を避けられるアウトドアスポーツへの関心が高まっている。蒲郡市海陽町のラグナマリーナは、気軽にヨットクルーズを楽しめると親子連れやカップルに人気だ。

ラグナマリーナは、50分間で三河湾を周遊する。港を出るとエンジンを止め、風力だけで進む。帆を張るとヒュオッ（ヨットの音）と風が鳴り、風上に向かうとき船体は大きく横に傾く。何かにつかまらずにはいられない。風をつかめば全長18メートルの大型艇は揺れが少な



三河湾を巡るニッポンチャレンジ号（蒲郡市海陽町で）

く、安定した走りだ。運航するラグナマリーナサービスの平野恭行社長（48）によると、最高時速は17キロほど。その日の風によってコースを変えるという。

沖へ出て180度の方向転換をするためセイルが大きく動く。乗船客から歓声が上がった。両親と4歳の息子と訪れた豊川市の女性（45）は船首で風を浴び、大海原を一望していた。「息子は2度目。私は初めてだけど、揺れがほとんどなくて楽しめました」と笑顔だった。

蒲郡市では、ヨットの最高峰レース・アメリカ杯に挑戦した日本チーム「ニッポンチャレンジ」が練習拠点を置いた縁で、ラグナマリーナを含む3カ所にレーズ艇が展示されている。



船首で風を受ける親子連れ（蒲郡市沖で）

使用されたヨットを譲り受け、傷みを修復してニッポンチャレンジ号としてクルーズサービスを提供している。ヨットクルーズは中学生以上2500円、1歳～小学生1200円。日没時間に合わせて出港するサンセットクルーズや、大型クルーザー「スナメリ号」も運航している。天候などによって出港時刻が変わる。問い合わせは、セイルウイング＝電話0533(95)0145まで。

東日

東日

12日蒲郡ふ頭に寄港

蒲郡市浜町の蒲郡ふ頭に12日、大型クルーズ船「にっぽん丸」(商船三井客船2万2472ト)が寄港する。市は岸壁に見学エリアを設けるほか、出港時には見送りイベントを計画している。岸壁の一角に見学エリアを設け、駐車場を用意する。入場時に検温があり、発熱などの症状がある人は入れない。乗船客向けに飲食物販の出店があるほか、見送りイベントとして、蒲郡への入港は昨年11月以来11カ月ぶり。秋の味覚クルーズ「蒲郡・鳥羽」と銘打った3泊4日のクルーズだ。11日に横濱を出港し、蒲郡では翌12日午前8時午後5時半ごろまで停泊する。その後、鳥羽港を経由し14日に横浜へ帰る。乗船客は220人が見込まれる。蒲郡ではホテルでの昼食や三ヶ根山などを訪れるという。(多田雅有美)



昨年11月25日に蒲郡へ寄港した「にっぽん丸」(蒲郡市・蒲郡ふ頭11号岸壁で)

60店自慢の一品を紹介

蒲郡商工会議所「おらがの店じまん」パンフレットを配布

蒲郡商工会議所は、本年度の「おらがの店じまん」の認定店を発表した。蒲郡市内の60店がそれぞれ自慢の1品



蒲郡のおすすめ商品を紹介する「おらがの店じまん」パンフレット

を紹介するパンフレットを配布している。6、7月にかけて、会議所会員で市内の店舗を対象に募集した。パンフレットは縦21センチ、横10センチのポケットサイズで、26品、全60品の写真とともに各店の情報を掲載した。4万3000部を印刷し、認定店や商議所、市役所、蒲郡駅などで配布している。

特典を用意している店では、パンフレットを持参すると割引やドリンク一杯無料などのサービスを受けられる。

東日

ナで27・28日 海辺のハンドメイドマーケット 出店募集18日まで

蒲郡市海陽町のラグナマリーナで、ハンドメイド作家による約100店舗が出店する「海辺のハンドメイドマーケット」が開かれる。主催の「海・みなど」蒲郡実行委員会(小田泰久実行委員長)は出店者を募っている。



「海辺のハンドメイドマーケット」公式サイトにアクセスできるQRコード

両日とも午前10時から午後4時。雑貨やアクセサリー、工芸品、焼き菓子などの販売を想定している。日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環。出店申し込みは公式ホームページ(w.w.amiibe-handmademarket.jp)で受け付けている。18日まで。